

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	水供給システムの安全・安心確保に係る経費		<b>担当部局庁</b>	水管理・国土保全局 水資源部		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22～24年度		<b>担当課室</b>	水資源政策課		水資源政策課長 山本 健一		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	人々の生活や我が国の経済活動に一時も不可欠な水の供給を支える、ダムから取水堰、基幹的水路施設を経てエンドユーザーに至る水供給システムについて、被害が広範囲に及ぶような大規模災害時においても、早急に復旧・対応し円滑に水供給ができるよう危機管理体制を構築し、水利用の安定性を確保する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	農業用水、水道用水、工業用水等、水供給システムの根幹となる大規模多目的施設を有するモデル地区において、地震や洪水などの災害や水質事故等による水供給リスクを把握するとともに、関係者が連携して予防保全措置や危機管理対応を議論・検討することにより、ハード、ソフト両面から危機管理対策を推進する。また、この検討や議論のプロセス等を取りまとめ、危機管理に関するガイドラインとして全国に普及させることで、全国の水供給システムの安全・安心確保に資する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算			14	12	16	
		繰越し等						
		計	0	0	14	12	16	
	執行額			7				
	執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	53%			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	渇水影響度 (渇水による影響を、取水制限率と取水制限日数との積で表したものの)	成果実績			-	-	2,255日・%	5,300日・% (23年時点の過去5年平均)
		達成度	%				-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	関係者による危機管理に関する検討会の開催		活動実績 (当初見込み)		-	-	2地区 (2地区)	- (2地区)
<b>単位当たりコスト</b>	3,604千円 (執行額/地区数)		算出根拠	H22執行額 7,209千円 ÷ H22活動実績 2地区				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	水資源対策調査費	11.415	14.259	東日本大震災を受けた広域的な連携方策の追加検討、危機管理ガイドライン作成による増				
	職員旅費	0.216	0.748	東日本大震災等における水供給システムの被災状況や応急対応の事例調査の追加による増				
	諸謝金	0.198	0.366	東日本大震災を受けた広域的な連携方策検討のためのモデル検証地区追加による増				
	委員等旅費	0.310	0.627	"				
	計	12.139	16.000					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>執行率が低いのは、リスク分析調査業務発注における請負差額が365万円発生したためであり、これを除けば概ね計画的に実施ができたものとする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善 ⑤	<p>予算の効率的使用を図り、業務の成果が安定的な水供給に資するようにすること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>引き続き予算の効率的使用を図りつつ、危機管理ガイドラインを作成し大規模災害時においてもより早急に復旧や対応ができる危機管理体制を構築することにより、安定的な水供給を図る。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入

A. 国土交通省 7百万円					
木曾川用水施設における リスク分析、検討会の開 催					
			C. 事務費 2百万円		
			旅費、謝金、会場借 料、印刷、発送、消耗 品等		
	【一般競争入札】 B. ㈱T社 5百万円				
	木曾川用水施設にお けるリスク分析調査				

**資金の流れ**  
 (資金の受け  
 取り先が何を  
 行っているか  
 について補足  
 する) (単  
 位: 百万円)

A.国土交通省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
水資源対策調査費	㈱T社 木曾川用水施設におけるリスク分析	5			
計		5	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱T社	木曽川用水施設におけるリスク分析調査	5	4	57.60%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					